

「ベクトル株式会社」取材レポート

経営学部 遠藤周平 (所属:行本ゼミ)

工学部 長内俊二郎 (所属:新中研究室)

◎ はじめに

ベクトル株式会社様は、川崎市麻生区にある工業デザイン、商業デザインの企画、製造、販売、人材の教育、指導及び育成事業をされている企業です。人々が安心して使える安全なデザインを常に心がけ、普段、私たちがあまり気にしないところにしっかりと目が行き届いた商品を数多く販売しております。今回のインタビューを通じてこの展示会にかける意気込みを伺いました。

◎ 会社の主力製品・技術を教えてください。

主に自動車・ロボット・介護用品のデザインに関する受注を行っており、デザインという観点から安心・安全を追求し、誰もが使いやすく愛着を持てる商品を生み出せるよう努力しています。また、試作段階ではありますが、案内ロボット「コンシェルジュ」やテレプレゼンスロボット「マヌカン」、「ウォーク」も開発しています。これらのロボットは、従来のロボットに感じられた安全面に対する不安や、親近感が持てないといった負のイメージを払拭すべく、デザインに様々な工夫を施し、それらの問題点を改善した製品となっています。

◎ 主力製品のおもな売り先を教えてください。

当社のデザインは、移乗用のボード、ベッドと車いすを移動する際に使用する滑るシート、手先の震える方のためのタッチペン、難聴者向けの有線の伝達ツールなど、介護用商品を多く取り扱い、病院や介護施設と取引を行っています。ロボット関係は大学や産総研などの研究機関へ納め、共同で安全面などの研究開発を行っています。ロボットに関しては、まだまだ多くの問題点があり、それらの解決を経て、今後に活かせればと感じております。

◎ この展示会でアピールしたいもの、及び展示会の位置づけを教えてください。

今、現在作れるものはかなり揃ってきており、実際に展示している介護用のロボットなどは人を乗せて運ぶ車のような製品です。これらを展示することで、新しい技術やデザインを持ち合わせている会社であるということを認知してもらいたいと考えております。実際にロボットに試乗してもらい、機能性やデザインなどを体験してもらうことでより身近なものになることを期待しております。

◎ 展示会で成果を出すために取組まれていることを教えてください。

安全面が懸念されるロボットにおいて、極端な話ですが、動かないことが最大の安全と考えます。その中で動きを少しだけ加えることで現場での受付など安全面を達成できる、という認識を持ってもらえるような動きをお見せしております。

◎ 展示会での成果(受注事例、効果、メリット)などを教えてください。

現在は、まだ実用化に向けた開発段階であり、研究関連の取引が多い中、様々な商品のデザインの依頼を頂いております。このように我々の事業を多くの方々に認知してもらえたことが何よりの成果です。

◎ インタビューを終えて

懇切丁寧に質問に答えて頂き、我々も勉強になりました。我々の生活の身近なところで活躍していることを知ることができたことも大変良かったです。実際にロボットに試乗させてもらい、とても良い経験になりました。学生にとっても貴重な体験であり、有意義な時間を過ごせました。お忙しい中、ご協力を頂き、ありがとうございました。

◎ 会社概要

会社名	ベクトル株式会社
HP	http://vector111.com/
所在地	神奈川県川崎市麻生区片平 4-15-10
電話	050-5865-9895
FAX	050-3730-6018